

## パラマハンサ ヨガナンダ – 西洋におけるヨーガの父

2015年6月21日、日曜日 第1回国際ヨーガの日のお知らせ

インドのナレンドラ モテイ首相によって最初に提案された国際ヨーガの日が国連史上初めて認可されたことを今日は、皆さんと一緒に祝いましょう。インドに古代から伝わる神を知るための科学に対して世界中の人々が毎年、敬意を表すことを知ってパラマハンサ ヨガナンダは喜んでおられるに違いないと私たちは確信しています。なぜなら、すべての真理を求める人々に対して長い時の試練を経て伝えられたヨーガの瞑想のテクニックを紹介することに私たちのグルの生涯はささげられたのですから。

オンライン インディアン ジャーナルは最近の記事で“国際ヨーガの日というインドの提案が国連においてこれほどまでに順調に承認されたその功績の多くはアメリカにおけるインドの最初のグルであるパラマハンサ ヨガナンダに負うところが大きい。師は約一世紀前にアメリカにおいてヨーガの基礎を築くにあたり、非常に大きな役目を果たされた。”と述べています。

キリスト教が起きる遙か以前、聖典、バガヴァッド ギターに最初の記述があるこのヨーガの科学は暗黒の時代（カリ・ユガ）に一度失われ、その後マハヴァター ババジによってクリヤ ヨーガとして再び紹介されました。ババジの弟子であるラヒリ マハサヤは現代においてこの教えを最初に<sup>おおやけ</sup>公にした人です。後にババジはラヒリ マハサヤの弟子であるスワミ スリ ユクテスワに彼の弟子であるパラマハンサ ヨガナンダを訓練し、この魂の本質を明らかにするテクニックを世界中に広めるために西洋に派遣するように頼みました。自らのグルとババジの要請によるこの使命を果たすためにパラマハンサジはセルフ-リアリゼーション フェローシップ（SRF）を設立しました。師はこの名前に付いて“神という真理を必死に求めているすべての人々のために、聖なる蜂蜜を満たすための巣箱としての組織です。”と説明されました。

バガヴァッド ギターの解説書「神、アルジュナと語り給う」の中で私たちのグルは次のように述べています。

“ヨーガという言葉は心が神と霊交することによって得られる完全な調和、あるいは心の落ち着きを意味する。ヨーガはさらに神との合一を達成するための瞑想のための霊的なテクニックのことである。これらに加えてヨーガは神との合一へと私たちを導くあらゆる行為を意味する。”

“心が落ち着いている状態は魂の本来の状態です。普通の人は自らをこの世と同一視しているために、自らの意識を神との合一から引き離しています。この常に悲惨な結果をもたらす断絶を治療するためには神の喜びに満たされた状態で自らの行為を行わなくてはなりません。神の意識は絶え間なく変化を繰り返すこの世の影響を受けることの無い、常にヨーガ（合一）の状態、あるいは永遠に調和の取れた状態です。神の姿に創られている人間もまた、この世の（善と悪、光と闇という）二元性の犠牲になることなく生きて、行動することができるようにこの聖なる心の落ち着きを表すことができるようにならなくてははいけません。”

2014年9月に国際ヨーガの日の制定という議案を提出した際に、インドのナレンドラモディ首相は“ヨーガは古代からインドに伝わる計り知れないほど貴重な賜物です。ヨーガは心と<sup>からだ</sup>身体、思考と行為、抑制と達成の一体化、人と自然の調和、健康と幸福に対する全体的な取り組みを含んでいます。”と述べています。モディ首相のこの提案に対して、国連本会議は実に175カ国がこの発議を共同提案するという国連史上最多の支持を得て承認を可決しました。

およそ一世紀前にグルジがアメリカに到着してから、数えきれないほどの人々がクリヤ ヨーガの教えを<sup>きず</sup>授かっており、パラマハンサジは今日、西洋におけるヨーガの父として広く尊敬を集めています。それでは神とグルに意識を集中して、その大いなる平安を感じながらヨーガの瞑想を行うことを通じて、私たちのグルの生まれた国からもたらされたかけがえのない、贈り物である第一回国際ヨーガの日をお祝いすることから今日のサービスを始めましょう。



**Yoga for Harmony & Peace**

国際ヨーガの日（ロゴ）